

番 号	15 請願第 8 号 (厚生付託)
受理年月日	平成 1 5 年 6 月 2 3 日
件 名	新ごみ処理施設の建設計画について
提 出 者	三鷹のゴミを考える会 代表 宮本 陽子
紹介議員	杉本 英騎
要 旨	
<p>一般廃棄物の最終処分場である日の出町の二ツ塚処分場があと 12 年ほどで満杯になると言われ、現在、三鷹市は、調布市とともに新ごみ処理施設の建設を計画しています。</p> <p>平成 13 年 3 月に三鷹市、調布市が作成した「新ごみ処理施設整備基本計画素案報告書」においては、「処理方式は、ガス化溶融炉などを中心に検討する」「建設候補地の案は、ふじみ衛生組合用地とその周辺の用地とする」と記載があります。しかし、ガス化溶融炉はまだ安全性が確立された技術ではなく、ふじみ衛生組合用地は三鷹市役所のすぐ南側にあり、異常が発生すれば市民生活に及ぼす影響は少なくありません。</p> <p>また、調布市との共同処理についても、平成 11 年 8 月に両市長で覚書を締結されていますが、既に両市長とも交代し経済状況の悪化による財政事情も変化していることから、改めて検討し直す必要があります。</p> <p>しかし、こうした計画が進んでいることを多くの市民は知りません。一人ひとりが廃棄物に関心を持つように行政から市民への積極的な働きかけが望まれます。これだけ市民生活に影響を与える計画について、市民の意見を聞く場は 2 カ月に一度の検討委員会だけでなく、より多くの市民の意見を聞く場を提供し、意見を尊重して耳を傾けていただくことを要望します。</p> <p>現在、三鷹市では、環境センターの補強工事も完了し、耐用年数が 5 ～ 6 年延長されたと言われ、早急に建設の必要はないはずです。技術開発が日進月歩で進む中、安全な技術の開発を待つべき時間は大きく残されています。</p> <p>さらに、ガス化溶融炉は大量処理が前提になるため、リサイクルやごみの減量の推</p>	

進に逆行する恐れもあります。

上記理由から、時間をかけ十分に綿密な審議をするよう、下記項目をお願いいたします。

記

- 1 三鷹市は、ごみの量を減量し、中間処理施設の規模を最小限にするため、事業者への拡大生産者責任を求め、リサイクル社会を促進すること。
- 2 三鷹市は、新ごみ処理施設の建設計画を進めるに当たり、積極的に市民に情報を公開し、より多くの市民が発言する機会を増やし、計画に市民の声を取り入れること。